

SEIJO GREEN CITY

SEIJO
GREEN CITY

vol. **06**

令和8年6月号
発行:世田谷区



みどりが未来を支え、

私たちがみどりを育てる



みどりと暮らすことが、未来をそっと支えていく

成城のみどりは、 なぜこんなに豊か？ 未来を支える？

成城の豊かなみどりは、歴史や地形、そして私たちの暮らしが育んできたもの。この“日常のみどり”が、気温をやわらげ、CO₂を吸収し、未来のまちを静かに支えています。

Point 1

住まいがつくる、成城のみどり

庭木や生け垣など民家が作り出すみどりが、心地よい街並みをつくっています。

Point 2

暮らしの中に点在する、 小さな緑地たち

市民緑地や成城みつ池緑地(★)などさまざまな緑地が日常に溶け込み、まち全体を育んでいます。

Point 3

国分寺崖線と 湧水が育む自然

斜面林と湧水が多様な生きものを支え、住宅地のみどりと静かにつながる環境をつくっています。

Point 4

“みどり豊かなまち” をめざした歴史

成城は約100年前の開発当初から、みどりを守り育てるまちづくりを大切に、その理念が今も息づいています。

Point 5

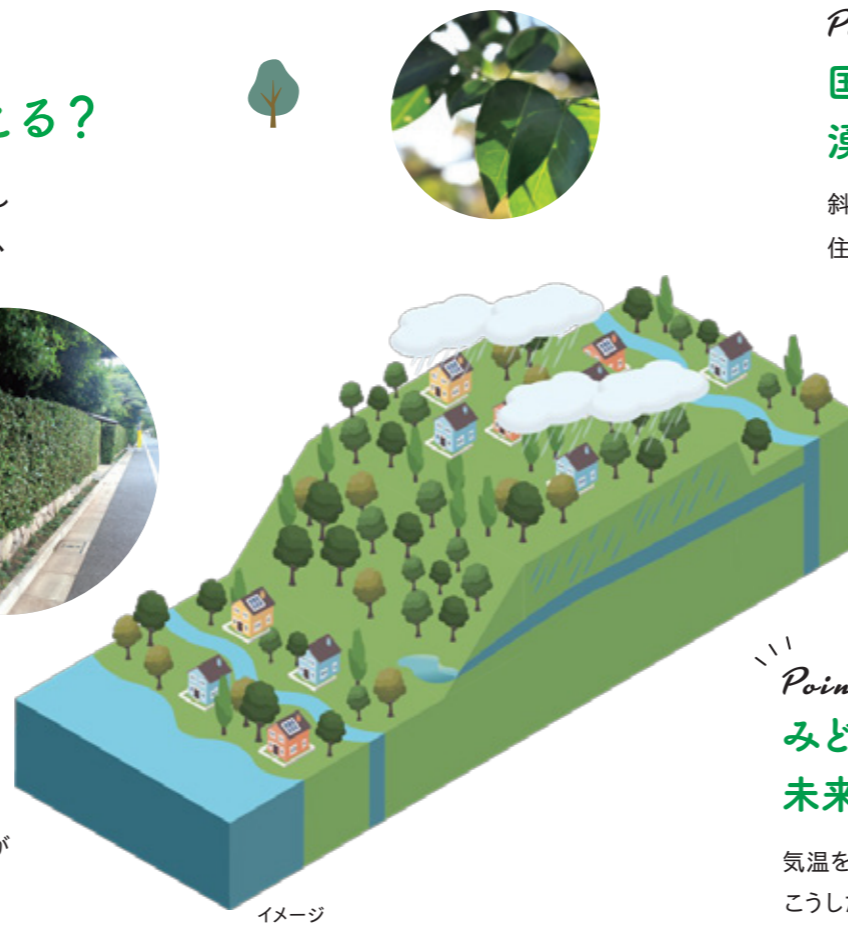
みどりは、 未来をそっと支える力

気温を下げ、CO₂を吸収し、歩きたくなる道をつくる—こうした小さな働きが積み重なり、成城のみどりは未来のまちを静かに守っています。

Check!

農大生が見える化、成城のみどりの力

東京農業大学の学生が成城をフィールドに調査を実施しました(令和7年度)。「成城みつ池緑地(★)」がまちを冷やす効果を持つこと、そして成城地区の5か所の街路では、“みどりが多いほど歩行者が多い”ことが確認されました!農大生の研究概要は、右記二次元コードからご覧ください。



イメージ

成城みつ池緑地を 守り続ける方々

～成城みつ池を育てる会～

静かな自然が残る成城みつ池緑地。その環境を守り、未来へつなぐ活動を続けている人たちがいます。



どんな活動をしている？

「成城みつ池を育てる会」では、地域の方がボランティアとして、湧水や動植物の調査、腐葉土づくりや萌芽更新、ササ刈りや竹林の管理、池の泥上げなど、緑地の保全活動を行なっています。年に4回、申込制で自然観察や管理作業を体験できる観察会(体験教室)が開かれ、参加者への現場案内や解説活動を実施しています。月4回の活動日には約15～20名が参加し、世田谷区や(公財)世田谷トラストまちづくりと密に連携しながら、メンバーの関心や持ち味を活かして活動しています。先人の知恵や専門家による勉強会で学びつつ、意見交換を重ねて、豊かな生物多様性を未来に残すことを目指しています。

“守り、育て、引き継ぐ” 生きた自然の場

成城みつ池緑地を始めとする国分寺崖線の樹林・湧水地は、都区部における生物多様性のホットスポットとも言える存在で、薪炭林として利用された落葉広葉樹林は区内でも希少な場所です。健全な森はCO₂を吸収し、地域の冷却効果に貢献します。成城みつ池緑地は、自然を守り、育て、次世代に引き継ぐ“生きたフィールド”として地域に根づいています。



非公開エリア



萌芽更新作業の様子

萌芽更新

…切り株の成長の早い芽を育て持続可能な落葉広葉樹林を保つ方法

★成城みつ池緑地

(成城 4-20・22)

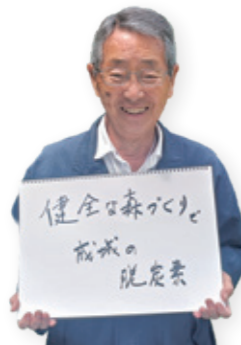
多様な樹林や湧水・池、希少な動植物など、豊かな自然環境を有しています。特別緑地保全地区及び特別保護区に指定されており、貴重な自然環境を守るため、立入りを制限し、静かな環境を保っています。

活動する人や地域の子カラが、成城のみどりを未来へつないでいます。

SGC脱炭素 ひとことアクション

暮らしの中で、できることから少しずつ。成城で広がるサステナブルなアクションやメッセージを紹介します。

成城みつ池を育てる会
会長 中川 清史さん



成城学園中学校高等学校
校長 青柳 圭子さん



未来の成城の芽

～成城大学 エシカル研究会 生ごみコンポストの取組み～

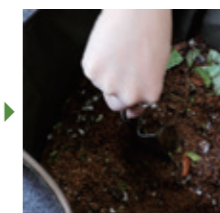
成城大学 エシカル研究会は、「環境・社会・地域にやさしい」をテーマに活動する大学公認団体です。プラントベース(植物由来の原材料を使った食材・食品)の発信や、生ごみをコンポストバッグでたい肥化する取組みを行なっています。生ごみコンポストの活動では、大学の食堂から出る生ごみを毎日コツコツ回収して、校内の敷地でたい肥化。ゆくゆくは“学食→コンポストバッグ→たい肥→学食”という循環がめぐる仕組みをつくり、成城産の野菜を育てたいと考えています!



①生ごみを刻む



②コンポストバッグに入れる



③定期的に混ぜる



Instagramで
発信中!





A 静けさを守り続ける、成城の原風景

成城みつ池緑地 (成城 4-20・22)

湧水や湿地、斜面林が残る緑地。特別緑地保全地区等に指定され、静かな自然が今も息づく場所です。

世田谷区HP /



B 崖線の自然を未来へつなぐ、自然豊かな斜面林

成城三丁目崖の林市民緑地 (成城 3-10)

国分寺崖線の地形を活かした林が広がる緑地。現在は当事業の一環で、生物多様性に配慮した取組みも行なっています。

世田谷トラスト
まちづくりHP /



C 木漏れ日が心地よい小さな憩いの庭

成城三丁目こもれびの庭市民緑地
(成城 3-6-20)

住宅街の中にある、やわらかな光が差し込む庭のような緑地。四季の草花が楽しめ、地域にひらかれた憩いのスポットです。

世田谷トラスト
まちづくりHP /



■ 世田谷区からのお知らせ

生ごみをバッグ型コンポストでたい肥にしませんか？参加者募集！

毎日の暮らしの中の“ちいさな循環”。
家庭で出る生ごみをたい肥にして、みどりを育てる“資源”に変えていく——。
そんなやさしい循環を、成城の暮らしの中から始めてみませんか。

生ごみコンポストとは？

生ごみを微生物に分解させ、みどりを育てる土づくりに役立つ“たい肥”を作る仕組みです。
焼却処分にたくさんのエネルギーが必要な生ごみを減らし、CO2削減にもつながります。

募集内容

バッグ型コンポストを使った「たい肥」づくりを体験していただき、生ごみ削減やたい肥の活用方法、地域内での資源循環など、普及拡大への課題を検証する実証事業です。

対象 成城地域にお住まいで、バッグ型コンポストが初めて、または現在利用していない世帯 (20世帯)

※できた「たい肥」を一部でもご自宅で活用できる方

実施内容 家庭から出る生ごみをバッグ型コンポスト(貸与)に入れて、たい肥にする体験。

7/25(土)説明会(配付会)・9/5(土)・11/28(土)報告会等への参加、
実施後のアンケートにご協力いただきます。

実証期間 令和8年7月~11月頃(お申し込みは7月13日まで)

申込方法 詳細・お申し込みは二次元コードから



お申し込みはこちら



SNS のフォローをお願いします



LINE

イベントのお知らせや
環境関連の情報をお届けします！



Instagram

成城の魅力やサステナブルな
暮らしのヒントなどを発信中！



あなたのお店の“ちょっといい工夫”
教えてください！

まちとシェアしませんか。投稿いただいた内容は、Instagramやパンフレットで
紹介させていただきます。参加は二次元コードから！



お問合わせ

環境政策部気候危機対策課 TEL:03-6432-7133・7135 FAX:03-6432-7981

区HP ページ番号:4751

